【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【公開番号】特開2008-126602(P2008-126602A)
【公開日】平成20年6月5日(2008.6.5)
【年通号数】公開・登録公報2008-022
【出願番号】特願2006-316606(P2006-316606)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　11/06　　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　 2/01　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　11/06
Ｂ４１Ｊ　 3/04　　１０１Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成21年11月20日(2009.11.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
媒体を前方に搬送可能なローラと、
上面に前記媒体を配置可能なプラテンと、
前記プラテンの上方に配置され、左右方向に往復移動可能に構成され、前記媒体に対してインクジェット方式によりインクを吐出するインクヘッドと、
を備えたインクジェットプリンタに用いられるアタッチメントであって、
前記プラテン上に着脱自在に配置されるとともに、左右方向に延びる樋状に形成され、前部と、後部と、前記前部と前記後部との間に位置し、前記前部および前記後部の各上端よりも低い底部とを有するインク受け部を備えたアタッチメント。
【請求項２】
前記インク受け部の左右方向の一端部は開放され、他端部は閉鎖されている、請求項１に記載のアタッチメント。
【請求項３】
前記底部は左右方向に傾斜するようにテーパー状に形成されている、請求項１または２に記載のアタッチメント。
【請求項４】
前記底部は、前後方向の中央部位が最も下方に位置するようにテーパー状に形成されている、請求項１～３のいずれか一つに記載のアタッチメント。
【請求項５】
前記インク受け部の後方に位置するように前記プラテン上に着脱自在に配置され、前記媒体に圧接する媒体移送部を備えた、請求項１～４のいずれか一つに記載のアタッチメント。
【請求項６】
前記媒体移送部は、
前側斜面および後側斜面を有する山形形状部位と、
前記山形形状部位の前記後側斜面の裾野部に連接された平板状の基板部と、
前記基板部に立設された壁部と、

前記山形形状部位の前記後側斜面の前端と前記壁部との間に配置された回転自在なローラとを有し、
前記山形形状部位の前記後側斜面と前記ローラとの間に前記媒体を通過させるように構成された、請求項５に記載のアタッチメント。
【請求項７】
前記インク受け部の上方を跨ぐように前記インク受け部に係止された板状部材を備え、
前記板状部材の上面に沿って前記媒体が搬送されるように構成された、請求項１～６のいずれか一つに記載のアタッチメント。
【請求項８】
前記インク受け部の上方を跨ぐように前記インク受け部に係止された板状部材を備え、
前記板状部材の下面に沿って前記媒体が搬送されるように構成された、請求項１～６のいずれか一つに記載のアタッチメント。
【請求項９】
媒体を前方に搬送可能なローラと、
上面に前記媒体を配置可能なプラテンと、
前記プラテンの上方に配置され、左右方向に往復移動可能に構成され、前記媒体に対してインクジェット方式によりインクを吐出するインクヘッドと、
前記プラテン上に着脱自在に配置されるとともに、左右方向に延びる樋状に形成され、前部と、後部と、前記前部と前記後部との間に位置し、前記前部および前記後部の各上端よりも低い底部とを有するインク受け部と、
を備えたインクジェットプリンタ。
【請求項１０】
前記インク受け部の左右方向の一端部は開放され、他端部は閉鎖され、
前記インク受け部の他端部からインクを誘導するガイド部材を備えている、請求項９に記載のインクジェットプリンタ。
【請求項１１】
前記インク受け部の前記底部は、左右方向に傾斜するようにテーパー状に形成され、
前記インク受け部の最下方部位からインクを誘導するガイド部材を備えている、請求項９に記載のインクジェットプリンタ。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
本発明に係るアタッチメントは、媒体を前方に搬送可能なローラと、上面に前記媒体を配置可能なプラテンと、前記プラテンの上方に配置され、左右方向に往復移動可能に構成され、前記媒体に対してインクジェット方式によりインクを吐出するインクヘッドと、を備えたインクジェットプリンタに用いられるアタッチメントであって、前記プラテン上に着脱自在に配置されるとともに、左右方向に延びる樋状に形成され、前部と、後部と、前記前部と前記後部との間に位置し、前記前部および前記後部の各上端よりも低い底部とを有するインク受け部を備えたものである。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】

前記インク受け部の左右方向の一端部は開放され、他端部は閉鎖されていてもよい。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
前記底部は左右方向に傾斜するようにテーパー状に形成されていてもよい。前記底部は、前後方向の中央部位が最も下方に位置するようにテーパー状に形成されていてもよい。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
前記アタッチメントは、前記インク受け部の後方に位置するように前記プラテン上に着脱自在に配置され、前記媒体に圧接する媒体移送部を備えていてもよい。

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
前記媒体移送部は、前側斜面および後側斜面を有する山形形状部位と、前記山形形状部位の前記後側斜面の裾野部に連接された平板状の基板部と、前記基板部に立設された壁部と、前記山形形状部位の前記後側斜面の前端と前記壁部との間に配置された回転自在なローラとを有し、前記山形形状部位の前記後側斜面と前記ローラとの間に前記媒体を通過させるように構成されていてもよい。

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
前記アタッチメントは、前記インク受け部の上方を跨ぐように前記インク受け部に係止された板状部材を備え、前記板状部材の上面に沿って前記媒体が搬送されるように構成されていてもよい。

【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
前記アタッチメントは、前記インク受け部の上方を跨ぐように前記インク受け部に係止された板状部材を備え、前記板状部材の下面に沿って前記媒体が搬送されるように構成さ

れていてもよい。

【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
本発明に係るインクジェットプリンタは、媒体を前方に搬送可能なローラと、上面に前記媒体を配置可能なプラテンと、前記プラテンの上方に配置され、左右方向に往復移動可能に構成され、前記媒体に対してインクジェット方式によりインクを吐出するインクヘッドと、前記プラテン上に着脱自在に配置されるとともに、左右方向に延びる樋状に形成され、前部と、後部と、前記前部と前記後部との間に位置し、前記前部および前記後部の各上端よりも低い底部とを有するインク受け部と、を備えたものである。
前記インク受け部の左右方向の一端部は開放され、他端部は閉鎖され、前記インクジェットプリンタは、前記インク受け部の他端部からインクを誘導するガイド部材を備えていてもよい。
前記インク受け部の前記底部は、左右方向に傾斜するようにテーパー状に形成され、前記インクジェットプリンタは、前記インク受け部の最下方部位からインクを誘導するガイド部材を備えていてもよい。

【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２９】
また、プラテン２０は、上記したインクヘッド２２の往復移動の領域をカバーするように図１の紙面に対して垂直方向、即ち、左右方向に延設されている。

【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６４】
なお、媒体Ｍの左右両端部が媒体押さえ機構２００の第１層板状部材２００ｂと第２層板状部材２００ｃとの間に形成された間隙Ｇ内に挟み込まれていて、当該媒体Ｍが撓まないようにされているので、媒体Ｍの両端が印刷したインクによって収縮することなどにより、インク受け部１０２ａの廃液インクが媒体Ｍの裏面に付着することが防止される。

【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７３】
【図１】図１は、本発明の実施の形態の一例によるインクジェットプリンタに用いるアタッチメントを取り付けられたインクジェットプリンタの左方から観察した状態における概略縦断端面構成説明図である。

【図２】図２は、図１の要部拡大図である。
【図３】図３は、アタッチメントを取り付けていない状態の図２に対応する要部拡大図である。
【図４】図４は、アタッチメントのみを取り出した状態の図２に対応する要部拡大図（但し、媒体押さえ機構の図示は省略している。）である。
【図５】図５は、アタッチメントおよびその周辺部の構成を示す要部拡大正面斜視説明図である。
【図６】図６は、アタッチメントおよびその周辺部の構成を示す部分正面斜視説明図である。
【図７】図７は、アタッチメントおよびその周辺部の構成の配置関係を示す斜視説明図である。
【図８】図８は、媒体押さえ機構を備えたアタッチメントの要部拡大図である。
【図９】図９は、媒体押さえ機構の斜視図である。
【図１０】図１０は、媒体押さえ機構の矢視図である。